

関西国際空港へのカンタス航空直行便就航について

平成 29 年 8 月 3 日

広域観光・文化・スポーツ振興局

4 月に実施したオーストラリアへのトッププロモーションにおいて、関西国際空港への直行便就航の要請を行ったカンタス航空が、関西国際空港～シドニー国際空港間の直行便就航を決定したことを、7 月 27 日に発表されましたので報告します。

記

1 期間（当面）

平成 29 年 12 月 14 日～平成 30 年 3 月 24 日

2 区間

関西国際空港～シドニー（キングスフォード・スミス）国際空港間

3 就航日

毎週月・木・土曜日

	月	木・土
関西国際空港発	22:50	18:55
シドニー国際空港着	10:40	6:45

	月	木・土
シドニー国際空港発	13:25	9:30
関西国際空港着	21:20	17:25

<プレスリリース>

2017年7月27日

カンタス航空 大阪(関西)ーシドニー間の季節運航開始を発表 ～日豪間の需要の高まりに応じて、12月14日から週3便が就航～

【大阪発】カンタス航空(本社:シドニー、CEO:アラン・ジョイス)は、本日、日本ーオーストラリア間の旅行需要の高まりにより、大阪(関西)ーシドニー間の直行便を季節運航すると発表しました。

カンタスは、2017年12月14日～2018年3月24日まで、週3便、エアバス A330 で2クラス制の運航となる予定です*。

本路線は、大阪ーシドニー間を直行便で結ぶ唯一の便となり、好評をいただいている東京(羽田)ーシドニー、東京(成田)ーブリスベン、東京(成田)ーメルボルン路線の3都市を結ぶ路線に加え、ジェットスターの大阪ーケアンズ間をも補完します。ジェットスターは東京(成田)からケアンズ、ゴールドコースト行きを運航しています。

カンタスの大阪ーシドニー路線は、豪国内線やニュージーランド路線、ジェットスタージャパンの日本の国内線などの幅広いネットワークにも接続でき、新路線の双方の都市にとって旅の選択肢を広げます。

カンタスの国際線部門 CEO である Gareth Evans は、「カンタスのネットワークに大阪が増えたことで、オーストラリアへの旅の玄関口を増やすことができました」と述べています。

「カンタスはこの12月で、日本就航70周年を迎えます。オーストラリアへの旅行需要が活況を呈するこの時期に、二国間の新路線を開始できることを心より嬉しく思います。」

「カンタスの日本市場へのコミットメントは、この著しい成長に対応し、日本ーオーストラリア間で最大のネットワークをはじめ、豪国内線のネットワーク、そして、ジェットスタージャパンによる日本国内のローコストのネットワークを拡充していくことです。」

「オーストラリアは、長期滞在やショッピングの場所として、日本からの旅行者に高い人気を誇っています。また、自由貿易協定の締結により、この新路線は企業が新しい地域でのビジネスを検討し参入する機会を広げるものであり、二国間の交易での関係をより強くするものです。」

「歴史的な見どころが多い関西と周辺地域を探訪するオーストラリアからの旅行者にとって、この直行便はとても魅力的です。この数年間に、日本では、2019年ラグビーワールドカップ、2020年オリンピック・パラリンピックなど、大きなイベントが予定されており、二国間の旅行需要は一層高まると予測しています。」と Evans は述べました。

カンタスは就航記念セールを実施、大阪ーシドニーのエコノミー往復を58,000円から、ビジネス往復を220,000円から販売します^。



フライトスケジュール(2017 年 12 月 14 日～2018 年 3 月 24 日)*

便名	ルート	出発時刻 到着時刻	月	火	水	木	金	土	日
QF34	関西ーシドニー	18:55/06:45+1	-	-	-	✓	-	✓	-
		22:50/10:40+1	✓	-	-	-	-	-	-
QF33	シドニーー関西	09:30/17:25	-	-	-	✓	-	✓	-
		13:25/21:20	✓	-	-	-	-	-	-

*政府・関係省庁の認可を条件とします。スケジュールは予告なく変更になる場合があります。月曜日のフライトは A330-200 型機での運航になります。

^空港使用料、諸税、諸手数料は別途。

本リリースに関するメディアお問い合わせ先
株式会社 プラップジャパン カンタス航空 広報担当: 堀越・山田
TEL: 03-4580-9106 E-mail: qantas_japan_pr@ml.prap.co.jp

本プレスリリースは株式会社プラップジャパンが代行して配信を行っています。





カンタス航空が関西＝シドニー線を新規就航 10 年ぶりの就航により長距離路線が拡大

関西エアポート株式会社は、オーストラリア最大手の航空会社、カンタス航空が 2017 年 12 月 14 日（木）より関西＝シドニー間の直行便を週 3 便、新規就航することをお知らせいたします。

カンタス航空が関西国際空港に就航するのは、2007 年夏スケジュール以来 10 年ぶりです。本就航により関西国際空港は、カンタス航空および同グループに属するジェットスターブランド各社の計 5 社※¹すべての会社が乗り入れる世界初の空港となります。また、関西＝シドニー間を単純に往復する直行便の就航は、開港以来初となります。

本就航は、日本・オーストラリア間の旅行需要の高まり、カンタス航空と関西エアポートのマーケティングチームの取り組み、および関西広域連合や関西国際空港全体構想促進協議会のご協力によることです。本路線により、オーストラリアにおける人口規模、経済規模ともに最大の都市シドニーと関西が結ばれ、長距離路線のアクセスがますます充実します。

関西エアポート株式会社は、引き続き、航空ネットワークの拡充を通じて、お客様の利便性向上に努め、快適で楽しい旅の体験を創造してまいります。

○ 運航開始日

2017 年 12 月 14 日（木）

○ 運航スケジュール（運航期間：2017 年 12 月 14 日（木）～2018 年 3 月 24 日（土））

路 線	便 名	スケジュール	運航日
シドニー	QF33 便	関西発（22：50）→ シドニー着（10：40）+1	月
		関西発（18：55）→ シドニー着（06：45）+1	木・土
	QF34 便	シドニー発（13：25）→ 関西着（21：20）	月
		シドニー発（09：30）→ 関西着（17：25）	木・土

※² 関係国政府の認可取得を条件とします。また、運航スケジュールは変更となる場合があります。

○ 機材仕様

型式：A330-300（月曜日のみ A330-200）

座席：297 席

- ・ビジネスクラス 28 席
- ・エコノミークラス 269 席



画像提供：カンタス航空

※¹ 5 社：カンタス航空、ジェットスター航空、ジェットスター・アジア航空、ジェットスター・ジャパン、ジェットスター・パシフィック航空（2017 年 9 月就航予定）

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社
コーポレートコミュニケーション部
Tel：072-455-2201





関西エアポート株式会社は、関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITM）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しました。関西エアポートは、オリックス株式会社とVINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。

関西エアポートは、両空港の安全とセキュリティを常に最優先しつつ、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化し、両空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへ貢献することを目標としています。

関西エアポートは、2015年12月15日付けで新関西国際空港株式会社との間で、事業期間を44年とする「関西国際空港及び大阪国際空港特定空港運営事業等公共施設等運営権実施契約」（実施契約）を締結しています。

詳しくは、関西エアポート株式会社ホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	資本金	250億円
代表者	代表取締役社長 山谷 佳之 代表取締役副社長 エマヌエル・ムノント	設立年月日	2015年12月1日
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、 管理受託業務等	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% ¹



オリックス株式会社について

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では融資、投資、生命保険、銀行、資産運用、自動車関連、不動産、環境エネルギー関連などへ事業を広げています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界36カ国・地域に拠点を設け、グローバルに展開しています。

2014年に50周年を迎え、これからも経営戦略である“「金融＋サービス」の加速化”、“アジア等新興国の成長を取り込む”を推進し、新たな事業機会の獲得と持続的な成長を目指すと同時に、社会に貢献してまいります。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、35空港の開発・運営を行っています。同社の空港ネットワークを構成するフランス13空港、ポルトガル10空港（リスボンのハブ空港含む）、カンボジア3空港、日本2空港、ドミニカ共和国6空港、そしてチリのサンチャゴ空港には、合計で200社を超える航空会社が就航し、2016年の旅客者数は1億3,200万人にのぼります。

ヴァンシ・エアポートは総合インテグレーターとして、1万1,000人のスタッフの専門知識と経験を駆使し、空港の開発・資金調達・建設・運営に当たっています。またその投資力、国際ネットワーク、ノウハウを生かして既存空港の運営と機能を最適化し、施設拡充や新規建設を行っています。2016年の連結売上高は10億5,000万ユーロに達します。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社ジェイティービー、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱東京UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構